



くれ

986号
2024年8月6日
郵政産業労働者ユニオン
呉支部発行



←中国地本HPへ
PC・スマホ等から
この情報が閲覧可！



メールはこちら→

平和の願いを今一度

戦後から79年目へ

日本が戦争に負け、終戦を迎えてから79年目となる2024年。

世界に目を向ければ、残念ながら、現在も戦争をしている国はある。

ロシアによるウクライナ侵攻も2年が経過したが、終戦の目途は立っていない。

また、イスラエルとイスラム組織ハマスとの戦争も続いている。

戦争となれば、一般市民



も無関係ではなく、多大な被害が及ぶ。

被害からは憎しみが生まれ、報復によって被害が拡大する悪循環に陥る。

一度戦争が始まれば、止める事は難しく、停戦するまで困難は続く。

多くの人は戦争を望んでいない。それでも、実際に戦争は起こる。

私達は平和の大切さと尊さを決して忘れてはいけない。

核兵器撤廃と

対立分断する国家

実践投入された核兵器の惨状は言うまでもない。

広島・長崎に投下された原子爆弾の威力は、町の破壊だけでは済まなかった。

核戦争に勝利者はいないとまで言われるほど、核兵器の威力は上がっている。

その核兵器は、1万発程度が現役として、直ぐに使える状態を維持している。米露の2か国で、核兵器の約9割を所有している。人類を何度も絶滅させ

る事ができる危機的状況の中で私達は生きていく。

そして、核兵器を一番多く所有しているロシアはウクライナと戦争中だ。

ロシアが追い込まれれば危機的状況は高まる。

しかし、ロシアはウクライナと隣国の為、核兵器を使用すれば、自国にも影響が及ぶ。

自国の領土拡大が戦争理由の一つであるロシアでも、核汚染された領土は手に余る。

一方で戦争が終われば、ウクライナがNATOへの加盟を希望する事は明白だ。

実際に侵攻が起きた事で、中立の立場をとっていたフィンランドとスウェーデンはNATOの加盟に動き、フィンランドは正式加盟となった。NATOの組織拡大を懸念していたロシアにとつては、致命的な結果を招いた。

隣国である日本もロシアとの間に北方領土の問題がある。

領土や資源等がきっかけとなり、戦争に発展する例は珍しくない。

分断ではなく、お互いに手を取れる日が1日も早く訪れる事が望まれる。

減区と減配置

有給の取得や郵便の減少等を理由に、会社は過去に何度か減区や減員を行った。

減区においては、見直しもあると周知する一方で、班長全員の異動を出すなど、配達区の調整自体を行えない強硬策を行った管理者もいる。

郵便の減少は確かにあるが、仕事を頑張った分だけ仕事量が増えていく矛盾は、社員を数字や道具としてしか見ていない等の不満を生む。

仕事量が割増しになっても、給料は変わらない。

決算では利益を出しても、社員の還元は出し渋る。

僅かな給料上昇で夏期・冬期休暇等の有給も減り、福利厚生は低下する一方だ。

一方的な減区や減員は社員にとって、モチベーションの低下にしかならず、若手社員が会社を見限る原因にもなる。

夏の水分補給

職場によって、対応が異なるが、呉郵便局では、夏を前にウォーターサーバーが設置された。

社員には、水筒も配られた。

昨年までは、ペットボトルで冷凍と冷蔵の水であったが、毎日準備する担当者には大変苦労をかけた。

補充の手間やペットボトルのゴミ問題を考えるとサーバーの設置は理解できる。

一方で、経費や衛星面を考慮してサーバーを設置せず、ペットボトルを用意した職場もある。

どちらが正解とは言えないが、社員の熱中症対策として、きちんと対応してくれるのはありがたい。

今後の予定

- 8月6日(火)
8.6ヒロシマ平和の集い
 - 8月6日(火) 17:00~
第10回呉支部執行委員会
支部事務所
 - 8月23日(金) 17:30~
支部大会
ビューポート
- 懇親会(参加費1名2千円)
鳥平 19:00~
- 次号は 8月20日 予定